

鳥越議員の最終学歴（出身校）は、「穂別高校」なのですか？
それとも、「東京外語専門学校」なのですか？

2025/01/04

I、鳥越議員！

「新聞（しんま）正次経歴詐称事件」って知ってますか？

政治家の経歴詐称は、「公職選挙法違反」であり、
誰からも告発される「犯罪」なのです。

※「新聞（しんま）正次経歴詐称事件」とは、・・

1992年第16回参议院選挙において、民社党候補として立候補した新聞正次は、「明治大学中退」との経歴は虚偽と報道され、新聞（しんま）は記者会見で、学歴、経歴は事実ではないと認めた。しかし、1993年名古屋地裁は、公職選挙違反で（虚偽事項公表罪）で、在宅起訴した。翌年の名古屋地裁判決は、「禁錮6か執行猶予4年の判決を受けたという事件。

参议院選挙も町議会選挙も同じです。公人の経歴にウソがあれば、問題にされるのです。選挙における「経歴詐取」は、犯罪です。誰でも「告発」出来ます。

I、鳥越議員の選挙結果の報道の流れ。

1、追分町議選(2004年・平成16年8月8日) 13人立候補

(北海道新聞 苫小牧支社 2004年8月9日)

● 鳥越真由美42歳 13位/立候補13名（定数12） 落選 102票

①職業（パート職員） ②主な経歴（追分中PTA学級委員長）

③最終学歴・出身校（穂別高校）

2、安平町議選（2006年・平成18年4月23日）

(北海道新聞 苫小牧支社 2006年4月9日)

(早来地区・定数9名/立候補13名。追分地区・定数9名/立候補11名)

● 鳥越真由美44歳 8位/追分定数9名 当選 222票

①職業（町保健推進委員） ②主な経歴（追分小PTA副会長）

③最終学歴・出身校（東京外語専門学校に変わった。）

3、安平町議選（2010年・平成22年4月23日） 以後も、
最終学歴（出身校）が、「東京外語専門学校」になっている。

4、安平町議選（2014年・平成26年4月9日） 無投票。
最終学歴（出身校）が「東京外語専門学校」になっている。

5、安平町議選（2018年・平成30年4月15日）

最終学歴（出身校）が「東京外語専門学校」になっている。

6、安平町議選（2022年・令和4年）では、

「最終学歴」欄は、町村議は記入不要となった。

町村長、市議選の立候補予定者のみの記入に変更となった。

従って、この年の町議会選挙の新聞報道では、議員の最終学歴（出身校）は、報道されませんでした。

Ⅱ、鳥越議員の経歴（学歴）に関して改めて、質問致します。

1、質問する理由。

鳥越議員が、1年で、「東京外語専門学校」を卒業するのは不可能？

（1）穂別高校卒業後、「東京外語専門学校卒業」との「自己申告」への疑問

平成16年8月追分町議選の落選時の新聞報道では、「穂別高校卒」でした。

しかし、2年後の平成18年4月に行われた追分町と早来町合併に伴う

「安平町議会議員選挙」の報道では、鳥越議員の最終学歴は、「東京外語専門学校卒」に変わっていました。

（2）もし、鳥越議員の「自己申告」通りだったとすれば、鳥越議員が「東京外語専門学校」に通学できるのは、たった、1年間しか時間的余裕がありません。

それは以下の理由によるものです。

理由①「平成16年8月追分町議選落選後、東京外語専門学校に入学するとすれば、翌年の平成17年4月からとなります。

理由②追分町議選落選の「2年後の平成18年4月」に行われた両町合併による新安平町議会選挙（当選）の時は、「東京外語専門学校卒」となっていたから、手続き上は、平成18年3月の時点で、「東京外語専門学校」を卒業していなければなりません。つまり、鳥越議員が、穂別高校を卒業後、限られた期間の中で「東京外語専門学校」を卒業するためには、平成17年4月から平成18年3月の1年間で、「東京外語専門学校」卒業単位をとったことになります。

通学における現実の困難性に関する質問

理由③「東京外語専門学校」に仮に通学したとしたときの困難？

家族を追分に置いて、鳥越氏が単身通学したのか。

または、家族ともども、東京に一家転住して「東京外語専門学校」に通学したのか、そもそも、いずれの選択も困難。

2、質問

(1) 質問① 確認します。鳥越議員が、「東京外語専門学校」に在席したのは、何年間ですか？

質問② 在席した学科コース名と何年制か、教えて下さい。

(2) 質問① 通学中、家族を追分に残して、単身、東京に行き、部屋を借りて「東京外語専門学校」に通学したのですか？

質問② 1年間、東京外語専門学校に通学するため、家族ともども、一家転住によったのですか？

(3) 質問①「東京外語専門学校」に入学したのはいつですか？

質問②「東京外語専門学校」を卒業したのはいつですか？

私が、この事実を鳥越議員に確認したところ、郵便物では、2度も非回答。(1回は、回答するかどうかわからないと述べ)、別場所で、口頭で「東京外語専門学校」を卒業していると、2度、本人は口頭で述べましたが、その際も、「吉岡が、直接、東京外語専門学校に確認したらいいじゃないか」と非常識な意見を述べました。あきれましたね。個人の卒業証明書の請求は、本人がするものです。(特殊な事情による場合は別ですが。) それを知ってか知らずしてか、「鳥越議員の最終学歴の証明を他人にさせよう」と非常識極まりない言動を発しています。本当に卒業したのでしょうか？本当に卒業していたら、造作もないことです。

3、新聞社から求められた経歴等。

(1) 因みに、当時、北海道新聞社から求められた「立候補予定者調査票」に記載する町議会議員の最終学歴は、自己申告になっており、「最終学歴を証明する書類の提出」はありませんでした。

しかし、令和4年(2022年)の選挙からは、町村長、市議選の立候補者のみ最終学歴を記入し、証明する書類の提出が義務づけられましたが、町議会議員の場合は、記入自体が不要になりました。

(2) 鳥越議員が、追分町議選挙の落選（平成16年8月）のあと、仮に「東京外語専門学校」を卒業したとした場合の状況。

(1) 鳥越議員の条件では、「東京専門学校」は1年間しか通えません。「その理由」で確認して下さい。

(2) 事実であるとした場合、次の質問に答えて下さい。

質問① 卒業証明書の開示をしていただけますか？

(3) ① 鳥越議員の「東京外語専門学校」の卒業には、物理的に、かなり無理がありますが、「卒業したのかどうか」を証明するためには、**卒業証書**または、**卒業証明書の開示が必要**ではないか。

② **卒業を証明するのは、鳥越議員！あなたの仕事です！**

鳥越議員。あなたは、確認を求めた私に、「東京外語専門学校に問い合わせたら良いだろう」と言いました。なんで、質問者の私が、他人の、鳥越議員が卒業したと主張する「学校」の卒業証明書の請求をする必要があるのですか？ 支離滅裂です。

改めて言いますが、その仕事は、「鳥越さん、あなたの仕事です。あなた自身の卒業証明書なのですから。」

(4) 鳥越議員！ 心から、あなたに忠告します。

心して聞いて下さい。嘘つきは嘘つきの顔になるのです。ウソをつくことが常態になると顔つきが変わるのです。整形手術をしたところで、隠せなくなります。

改めて、鏡で自分の顔を注視し、観察して下さい。